

若者職場定着モデル創出事業
参加企業募集

フレックスタイム制
テレワーク
時間単位の年次有給休暇
などの制度導入

若手社員が辞めない！ 職場づくりを支援します！

若手社員の離職を防止するためには、若者が自らの希望に応じて、働き方を柔軟に選択できる職場環境づくりが重要です。

愛知県では、こうした多様で柔軟な働き方を実現する制度の導入を、社会保険労務士等の専門家の派遣により伴走的に支援します。

また、支援企業の取組や成果は、モデル事例として県がPRします。

定員

派遣専門家

対象

4社
限定

・社会保険労務士
・中小企業診断士
・キャリアコンサルタント 等

県内中小企業 等

申込はこちら

申込締切
2026

9/4 金



専門家派遣の流れ



お申込み

Webよりお申込みください



事前ヒアリング

事前ヒアリングを経て支援企業4社を選定します
選定結果は9月中旬頃にお知らせします



コーディネート

企業の現状を分析し、課題や要望を基に
適切な専門家をコーディネートします



専門家による伴走支援(1社6回程度)

専門家を派遣し、課題解決を支援します
※支援内容・スケジュールの例は裏面をチェック！



フォローアップ

取組の結果や成果のヒアリングを含め
取組を今後に生かすためのフォローアップを行います



モデル事例の公表

若者職場定着のモデル事例として愛知県がPRします

支援する取組例

- フレックスタイム制の導入に具体的な助言を受けながら進めたい。
- 柔軟な働き方ができる制度を導入して若手社員の離職防止につなげたい。
- 自社の課題を整理し、課題に応じた制度を導入したい。
- 若手社員の意見を反映させた制度をつくりたい。
- 若手社員に活用されていない制度を改善したい。など



令和8年度若者職場定着経営者支援事業 本事業は、愛知県から受託し運営しています。

主催:愛知県労働局労働福祉課 運営:Man to Man Animo 株式会社

TEL:052-678-3001 FAX:052-678-2888

URL <https://www.animostyle.jp> MAIL wakamono-info@mmg-animo.co.jp

支援スケジュールの例

- 1 プランニング**
 - ・会社の現状や課題を整理
 - ・今後の支援プランを策定
- 2 ヒアリング**
 - ・若手社員へのヒアリング項目を決定
 - ・次回までに若手社員へのヒアリングを実施
- 3 制度設計①**
 - ・若手社員へのヒアリング結果を集計
 - ・結果をもとにフレックスタイム制の導入を中心とした施策案がまとまる
- 4 制度設計②**
 - ・フレックスタイム制を適用する部署や、コアタイム等の詳細を設計
 - ・就業規則改訂のポイントについて専門家から助言を行う
- 5 制度運用準備**
 - ・社員説明会に向けた説明資料を作成
 - ・勤怠管理の方法について専門家から助言し、制度の運用を開始。
- 6 制度運用フォロー**
 - ・制度の運用状況を確認
 - ・見えてきた運用面の課題に対して専門家からフォローを実施



若者の離職をめぐる現状

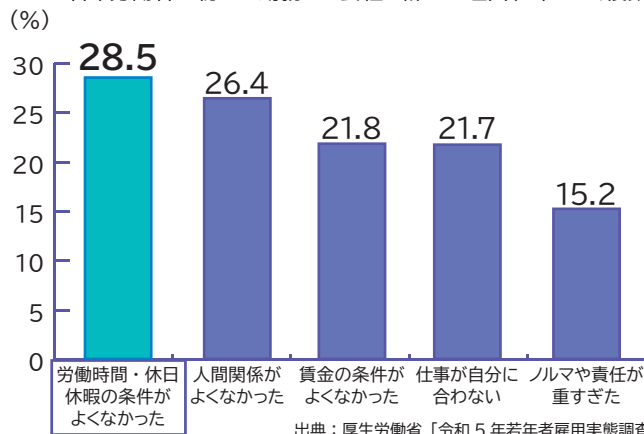
厚生労働省の調査によると、若者が初めて勤務した会社を辞めた理由としては「**労働時間・休日休暇の条件**」(28.5%)が最も高い割合となっており、こうした働き方の条件が離職の原因となるケースが多いことがわかります。

また、県の調査では、若者からは「働きやすい勤務形態」として**フレックスタイム制やテレワーク等**が多く挙げられており、こうした柔軟な働き方に働きやすさを感じていることがわかります。

このような状況から、企業が若手社員の離職を防止するには、**多様で柔軟な働き方の推進**により、若者にとって働きやすい職場環境を整備することが重要と考えられます。

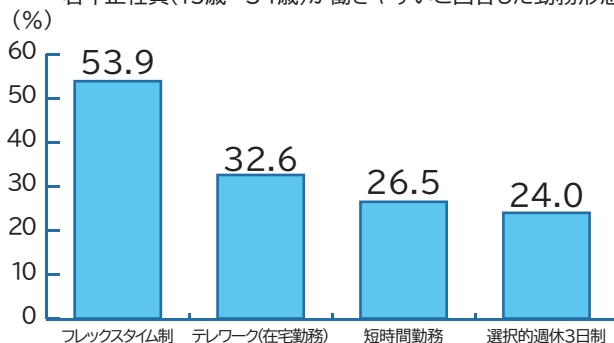


若年労働者が初めて勤務した会社を辞めた理由(上位5つ、複数回答)



多様で柔軟な働き方の推進

若年正社員(15歳～34歳)が働きやすいと回答した勤務形態



出典：愛知県「次期あいち経済労働ビジョンの策定に向けた経済産業・雇用労働に関する基礎調査」(2024年)を基に愛知県作成